

☆ AWC事務局便り 3月号 ☆

自立を目指しての船出

お互い様プロジェクトで支援しているE君は、2月いっぱいを持って職業訓練校を修了し、既に採用が決まっているバイクの修理工場で働き始めました。自分の興味のあるバイクの修理を学び、就職することができました。国籍がなく様々な制約の中での暮らしですが、前向きに頑張っています。

ここまで続けていたE君への経済面での支援は終わりますが、まだ16歳で親の助けはなく、悩み事を抱えないように精神面でのサポートはこれからもしっかり続けていきたいと思います。E君自身も休日を使ってボランティア活動を続けていくと張り切っているようで頼もしいことです。これからのE君のさらなる成長と、E君を目標に頑張る後輩達の成長も楽しみです。



よこはま国際フォーラム2020

2月15日（土）JICA横浜で開催された「国際フォーラム2020」に参加し、お互い様プロジェクトの報告会を行いました。「困った時はおたがいさま」の精神を活かし、国の発展から取り残され、既存の支援の枠から溢れた人たちへのスピーディな支援についての重要性を伝えました。小さな団体の利点を最大限生かしながらの協力であることも報告しました。参加された方から「小規模NGOならではの良さが理解できた」と感想が寄せられました。



タイで数十年ぶりの大干ばつ

新型コロナウイルスによる社会不安が世の中を覆っています。最初に感染者を出した中国では感染者数も減り、少しずつ元の暮らしに戻りつつありますが、欧米での感染者数の増加は著しく心配が募ります。

タイでの感染者増加というようなニュースはあまり聞きませんが、村はどのような状況か気になりタイに連絡したところ、空港や観光地も閑散としており、観光産業への打撃が大きいことに加え、韓国等に出稼ぎに行っていた人たちが大勢帰国しており、今後色々な影響が出そうだとの返事がありました。

それに加えて今一番深刻なのが、数十年ぶりの大干ばつが起きていることだそうです。これからの暑い季節を迎える前にこのような状態になり、水不足をとっても心配していました。昨年雨期の降雨が少なかった影響などもあり、タイの水源地帯である北タイ山間部の川や滝なども今までに見たこともないほど水量が減少しているようで、このまま4月、5月を迎えると各地に深刻な被害が出そうだとのことです。メコン川の水位も過去50年で最低というほど下がっているためメコン流域も被害が心配です。

新型コロナウイルスへの一番の予防は手洗いと言われていますが、水不足は手洗いもなかなかできないような状況になり清潔を保つことが難しくなります。パンデミック宣言があり、今後タイなどでの流行も考えられないことではないため心配です。



緑豊かなタイの山の村

AWCを立ち上げたばかりの1997年にタイバーツの切り下げがあり、大不況が起きた時には、人買いが山の村に入り込んで子どもたちが売られてしまったことを思い出します。さらにあの頃はHIVの蔓延も同時に起こりました。私たちのできることを続けていき、あのような事態にならないように祈っています。そしてSOSの知らせを受けた時にはすぐに何らかの支援をできるようにしていきたいと思います。

イベント中止のお知らせ

2月22日の「手作りマルシェ」、3月7日の「国際女性デー」、3月21日の「逗子トモイクフェスタ」は、新型コロナウイルスの流行に伴い、予防のために中止となりました。ボランティアのために時間を作ってくださっていた方々にはお詫び申し上げます。

